

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

トヨタ/PM 強制再生モード移行(ハイエースの DPF 強制再生)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

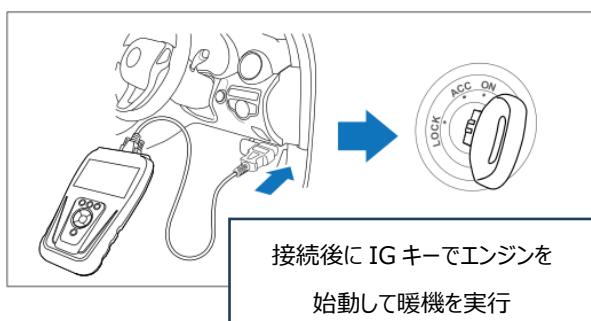
1.作業サポート「PM 強制再生モード移行」について

- ディーゼルエンジンを搭載したトヨタ車の DPF に堆積した PM(スス)を強制燃焼させて除去する機能です。
- 「PM 強制再生モード移行」実行中は排気管および排気管周辺が非常に高温になります。排気管周辺の可燃物の有無を確認してから実行してください。また、換気ができる場所で実行してください。
- 本書ではハイエース(2024 年 1 月以降発売/エンジン 1GD-FTV 搭載/スマートキー非装着)での操作例を紹介します。

2.HDM-10000 用トヨタ診断ソフトの作業サポート「PM 強制再生モード移行」の操作手順

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクターに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②エンジンを始動し、暖機を行ってください。
- ③無負荷最高回転を 10 秒間保持して排気管内のススを飛ばしてください。
- ④HDM-10000 メニュー内の「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 02:トヨタ診断ソフトの起動からトヨタメインメニューの表示まで】

- ①メーカー選択が表示されます。画面の左側で「国産乗用車」を選択し、画面の右側の一覧で「トヨタ/レクサス」を選択して ENTER キーを押してください。診断ソフトが起動します。



- ②「地域設定」が表示されたら「日本」を選択して ENTER キーを押してください。次に「車両選択」が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中…しばらくお待ちください。」が表示されます。



- ③「ブランド」の画面が表示されたら「TOYOTA」を選択して ENTER キーを押してください。その後に「車名」「車型」「エンジン型式」「オプション」の画面が表示されるので、それぞれの画面で該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。



- ④「イニシャライズ中…しばらくお待ちください。」が表示されたあと、トヨタメインメニューが表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 03:PM 強制再生モード移行の選択まで】

- ①トヨタメインメニューで「作業サポート」を選択して ENTER キーを押してください。「作業サポート」が表示されたら「作業サポート [NEW]」を選択して ENTER キーを押してください。



【補足 1】

年式によってトヨタメインメニューで選択する項目が異なります。

⑦2017 年 12 月～2022 年 4 月まで

トヨタメインメニューで「アクティブテスト」を選択して「エンジン」⇒「PM 強制再生」の順番で進みます。

⑧2022 年 4 月以降

トヨタメインメニューで「作業サポート」を選択して「エンジン」⇒「PM 強制再生モード移行」の順番で進みます。

- ②「車両搭載システム確認中…しばらくお待ちください。」が

表示されたあと、システムの一覧が表示されます。

「エンジン」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③「システム確認中…しばらくお待ちください。」が

表示されたあと「エンジン」の作業サポート一覧が

表示されます。

「PM 強制再生モード移行」を選択して

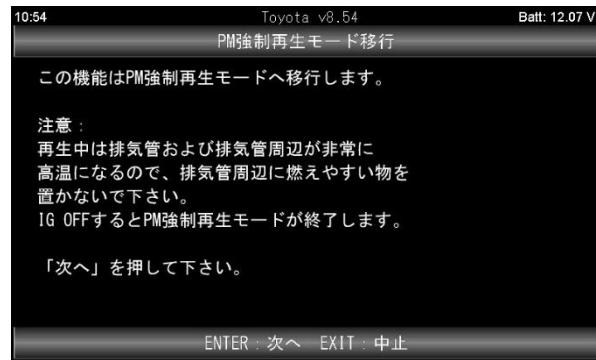
ENTER キーを押してください。



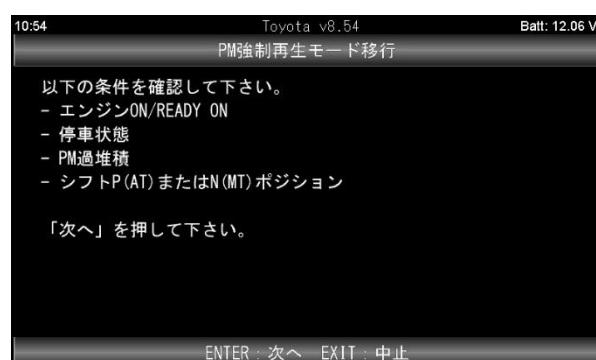
(次ページに続きます)

【手順 04:PM 強制再生モード移行の実行】

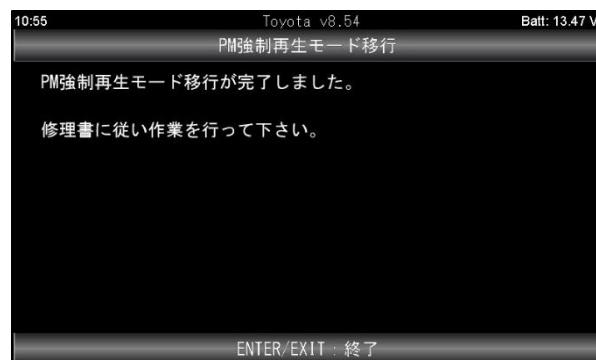
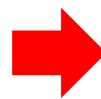
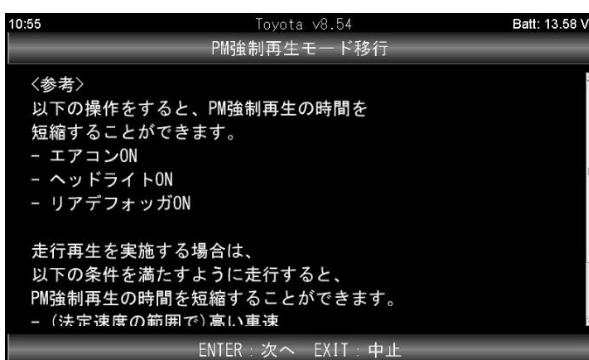
- ①「PM 強制再生モード移行」の実行画面が表示されます。
「注意」の内容を確認したら ENTER キーを押してください。



- ②実行条件が表示されます。内容を確認したら ENTER キーを押してください。



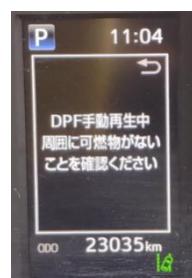
- ③「PM 強制再生モード移行」を実行するに当たっての参考情報が表示されます。内容を確認したら ENTER キーを押してください。「PM 強制再生モード移行が完了しました。」が表示されます。



- ④車両側の実行条件が揃っていれば「PM 強制再生モード移行」による DPF の PM(スス)の強制燃焼による除去が開始されます。

このとき、エンジン回転数が上がり、メーターパネル内に右図のメッセージが表示されます。

※右図は初年度登録 2024 年 7 月のハイエースでの表示例です。



- ⑤PM(スス)の強制燃焼による除去が終了するとエンジン回転数が下がり、メーターパネル内のメッセージも「PM 強制再生モード移行」の実行前の表示に戻ります。

アイドリングの状態を 5 分間維持してください。

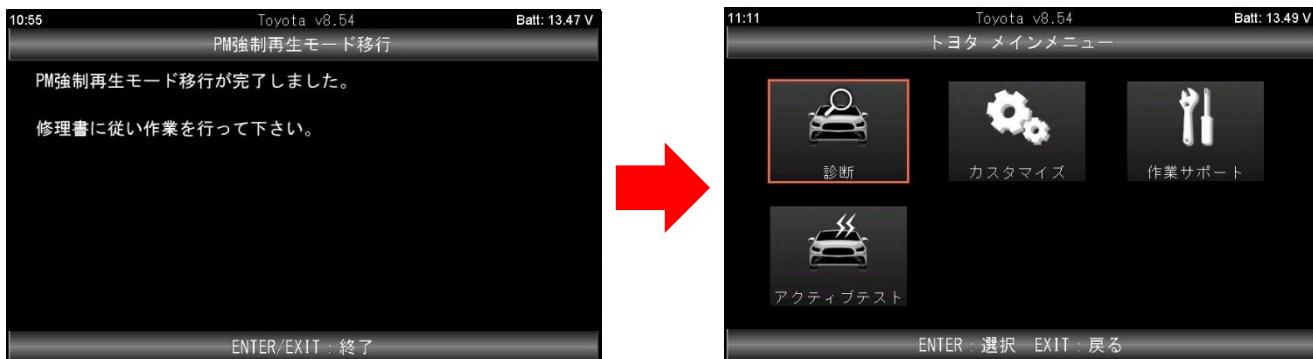
※右図は初年度登録 2024 年 7 月のハイエースでの表示例です。



(次ページに続きます)

【手順 05:GPF/DPF 差圧の確認-データモニターの表示項目選択の「すべて解除」まで】

①EXIT キーを数回押してトヨタメインメニューまで戻り、「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



②「診断選択」が表示されたら「システム別の診断」を選択して ENTER キーを押してください。「システム選択」が表示されたら「エンジン」を選択して ENTER キーを押してください。



③「エンジン」が表示されたら「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中…しばらくお待ちください。」が表示されたあと、「表示項目選択」が表示されます。



④画面右下の「すべて解除」を選択して ENTER キーを押してください。

データモニターの全ての表示項目のチェック欄が空欄になります。



(次ページに続きます)

【手順 06:GPF/DPF 差圧の確認-データモニターの表示項目選択と値の確認】

- ①「表示項目選択」で「GPF/DPF 差圧バンク 1」を選択してください。次に画面下の「選択・解除」を選択し
ENTER キーを押してください。「GPF/DPF 差圧バンク 1」のチェック欄にチェックが入ります。



【補足 2】

年式によって選択する項目が異なります。

- ⑦2017 年 12 月～2022 年 4 月まで⇒「DPR/DPNR 差圧」を選択してください。
⑧2022 年 4 月以降⇒「GPF/DPF 差圧バンク 1」を選択してください。

- ②画面下の「開始」を選択して ENTER キーを押してください。「GPF/DPF 差圧バンク 1」のみでデータモニターが実行されます。



- ③ブレーキペダルを確実に踏み込んだ状態でアクセルペダルを 5 秒間全開にして「GPF/DPF 差圧バンク 1」の値が 15kPa 以下となっているか確認してください。
15kPa 以下となつていれば完了です。



(2025.10.21 発行)